

ワークショップ『降雪に関するレーダーと数値モデルによる研究(第5回)』

日時： 2007年3月8日(木)－9日(金)

場所： 防災科学技術研究所 雪氷防災研究センター 大会議室
(新潟県長岡市栖吉町)

主旨：

雪雲の発達する場を作る話、雪雲の発達過程の話、雪雲によって直接もたらされる地上気象の話、という3トピックについて、モデルを中心とした講演を集める。雪雲の発生、発達及び降雪に関わる力学と境界層過程について、最新の研究成果に基づき幅広く議論できる場にしたい。

プログラム：

2007年3月8日(木)

◇バス時刻 長岡駅東口13:20 → 前山町入口 13:33

14:00 開会

14:10 - 14:40 領域解析データからみた2005年12月の豪雪の要因と雲解像モデルを用いた降雪予測

加藤 輝之 気象研究所 予報研究部

14:40 - 15:10 ナudgingから発展した同化の方法を紹介(仮)

清水 慎吾 防災科学技術研究所 水・土砂防災研究部

15:10 - 15:40 冬季東アジアの季節予測可能性

楠 昌司 気象研究所 気候研究部

休憩

15:50 - 16:20 順圧モデルを用いた冬の高緯度大気変動メカニズムの話(仮)

田中 博 筑波大学

16:20 - 16:50 平成18年豪雪：予報実験による大気大循環場の変動とSSTの影響

稲葉 守生 気象研究所 気候研究部

16:50 - 17:20 航空機観測から分かる日本近海の気団変質の実態について

猪上 淳 海洋研究開発機構 地球環境観測研究センター

◇バス時刻 前山町入口 17:48 → 長岡駅東口18:03

2007年3月9日(木)

◇バス時刻 長岡駅東口08:20 → 前山町入口 08:31

08:50 - 09:20 吹雪とそのモデル化(仮)

佐藤 威 防災科学技術研究所 雪氷防災研究センター新庄支所
09:20 - 09:50 市街地風環境のCFDモデリングの現状と積雪シミュレーションへの応用
富永 禎秀 新潟工科大学
09:50 - 10:20 LESを用いた吹雪の発達の話(仮)
根本 征樹 防災科学技術研究所 雪氷防災研究センター新庄支所
10:20 - 10:50 山雪と里雪(仮)
岩本 勉之 防災科学技術研究所 雪氷防災研究センター
10:50 - 11:20 2005/2006冬季のモデルと観測の降水量比較(仮)
中井 専人 防災科学技術研究所 雪氷防災研究センター
11:20 - 11:30 総合討論

◇バス時刻 前山町入口 11:53 → 長岡駅東口12:08